

2015年2月10日 全4頁

【統計情報】暮らしが見えるグラフ24 (2015年2月号)

データバンク課

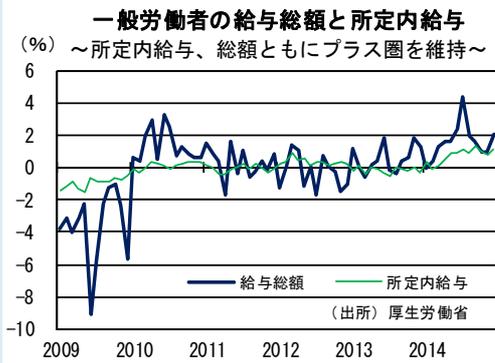
[目次]

- I. 仕事のこと
 1. 一般労働者の給与総額と所定内給与
 2. パートタイムの給与総額と労働者比率
 3. 労働時間と残業時間
 4. 完全失業率と有効求人倍率
 5. 非正規の職員・従業員の割合
 6. 就業者総数における高齢者の割合
 7. 就業者の女性比率
 8. 企業規模別年次有給休暇取得率
- II. 家庭のこと
 1. 実質消費支出
 2. 消費者物価指数
 3. 光熱費総額と電気代
 4. 教育関係費・医療費
 5. 首都圏マンション販売
 6. 新車販売台数
 7. 金融資産保有状況
 8. 世帯主の年齢階級別負債現在高の推移
- III. 社会のこと
 1. 暮らし向きDIと現在の景況感DI
 2. 老人及び出生率対象の女性人口と人口増減率
 3. 保育所待機児童数と低年齢児の比率
 4. 年齢階級別要介護・要支援認定者の割合
 5. 在留外国人数
 6. 相対的貧困率
 7. 空き家数と空き家率
 8. インターネットの人口普及率

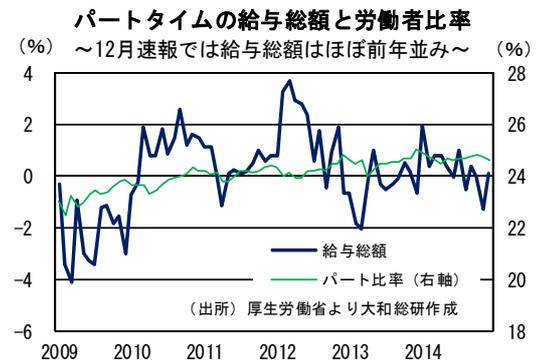
当資料は2月9日までの公表データで作成しています。

* 大和総研のウェブサイトでは、当レポートの関連データ集も公開しております。ご活用頂ければ幸いです。
<http://www.dir.co.jp/InfoManage/datar-sc-s.html>

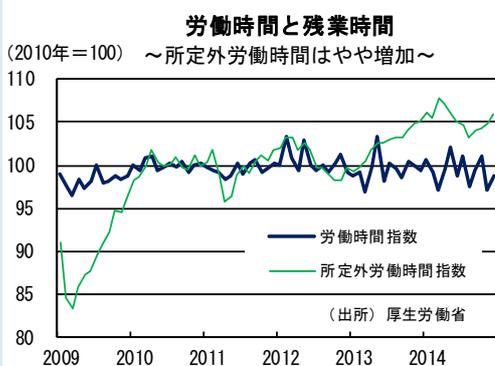
I. 仕事のこと



(注) 事業所規模30人以上、前年比



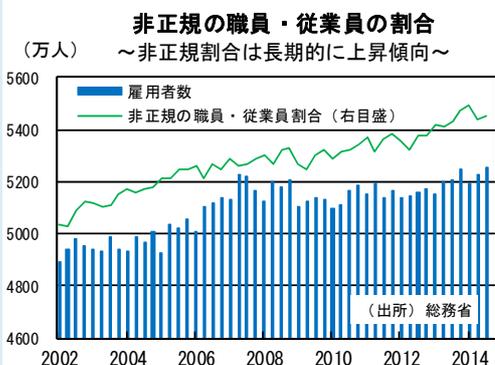
(注) 事業所規模30人以上、前年比



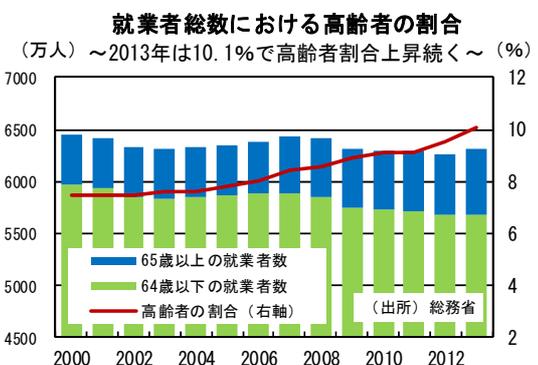
(注) 事業所規模30人以上、季調済



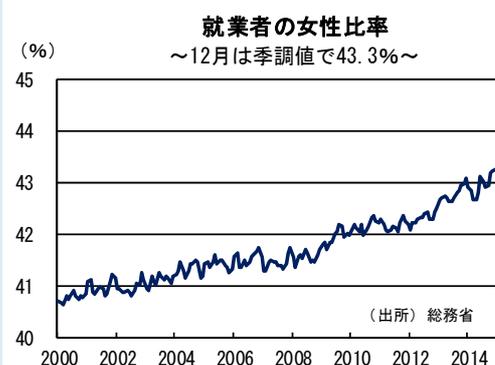
(注) 事業所規模30人以上、季調済



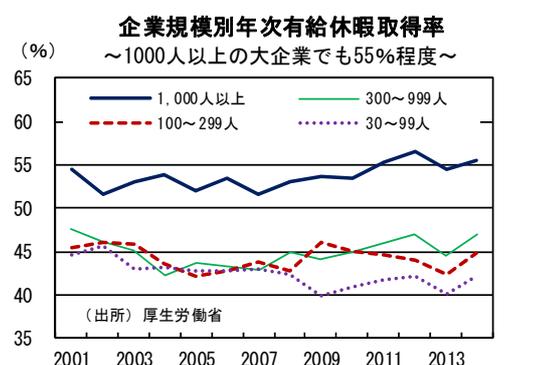
(注) 雇用者数、割合ともに役員を除く



(注) 雇用者数、割合ともに役員を除く

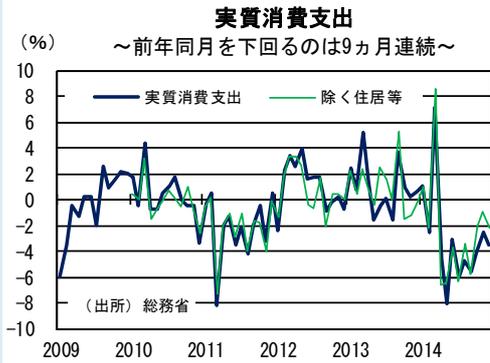


(注) 季調済

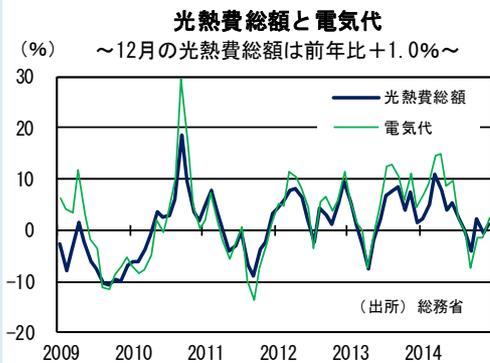
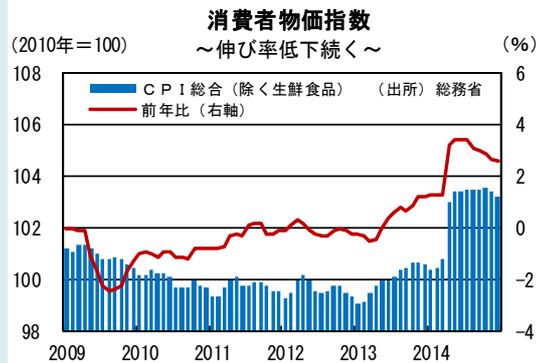


(注) 前年1年間の取得率

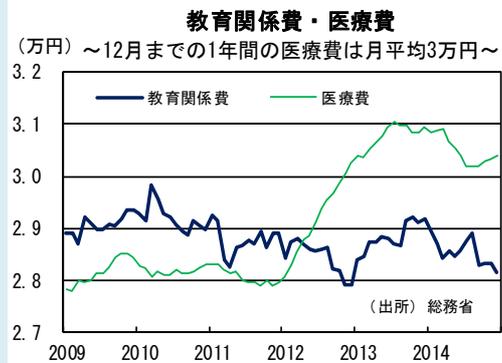
II. 家庭のこと



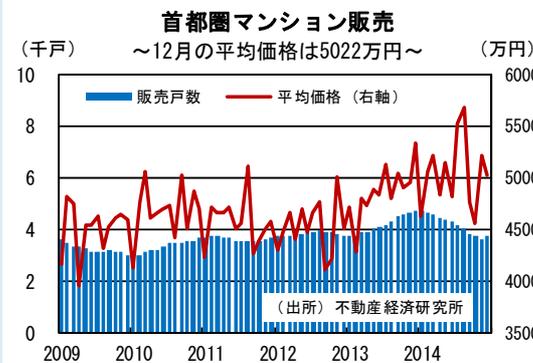
(注) 前年比



(注) 二人以上世帯一世帯当たり、前年比



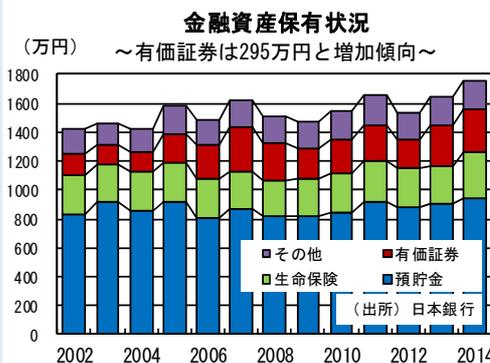
(注) 勤労者一世帯当たり (農林漁家世帯を除く) 月額、医療費は健康保険料を含む、12ヵ月移動平均



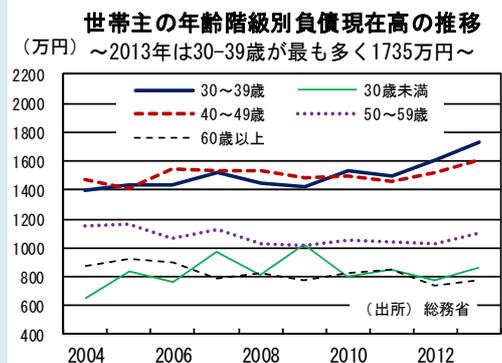
(注) 販売戸数は12ヵ月平均、新規物件



(注) 前年比、乗用車ベース



(注) 金融資産保有世帯で二人以上の世帯



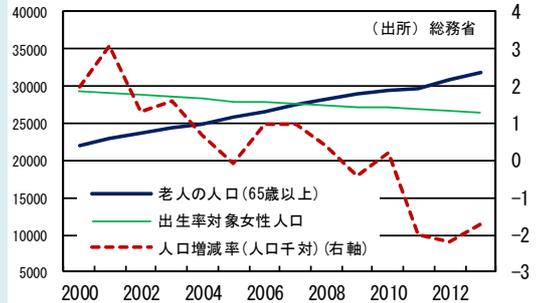
(注) 二人以上世帯で負債保有世帯

Ⅲ. 社会のこと

暮らし向きDIと現在の景況感DI
 (%ポイント) ~2014年4Q、両DIとも3期連続で悪化~

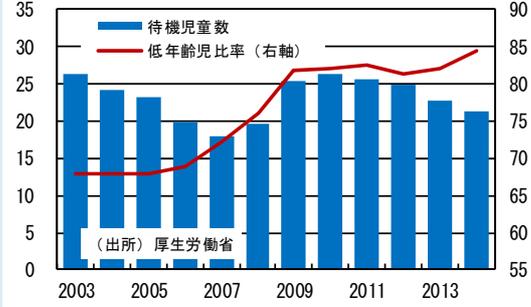


老人及び出生率対象の女性人口と人口増減率
 (千人) ~2008年以降老人人口が対象女性人口を超過~ (%)



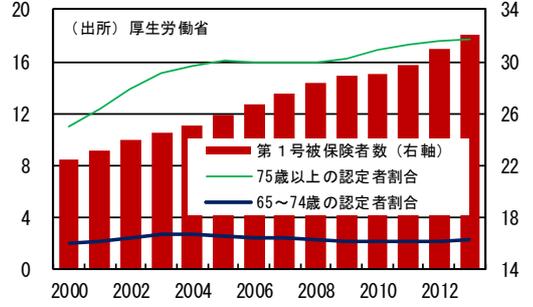
(注) 出生率対象女性人口は、合計特殊出生率の対象となる15~49歳の女性の人口

保育所待機児童数と低年齢児の比率
 (千人) ~低年齢児(0~2歳児)が84.5%を占める~ (%)



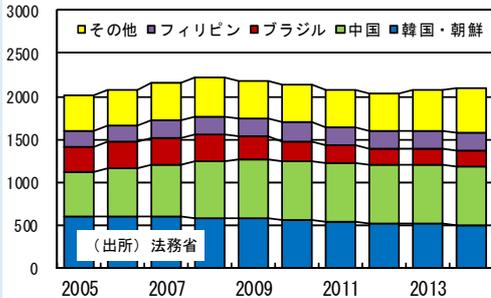
(注) 各年4月現在

年齢階級別要介護・要支援認定者の割合
 (%) ~75歳以上の認定者の割合、増加続く~ (百万人)



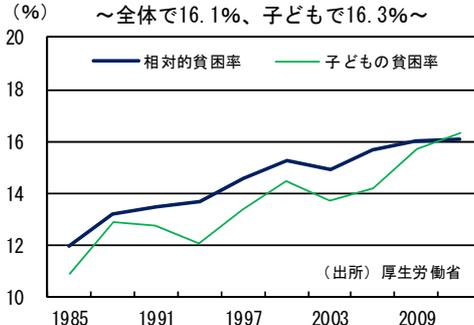
(注) 第1号被保険者(65歳以上)を対象、横軸は年度 2013年度は暫定値

在留外国人数
 (千人) ~フィリピンが+2.3%と高めの伸び~



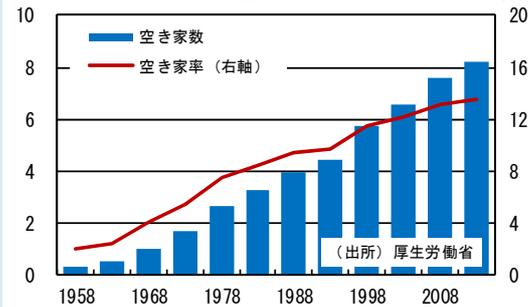
(注) 2011年以前は登録外国人数 中国には台湾・香港・マカオを含む、2014年は6月末時点

相対的貧困率



(注) 相対的貧困率は等価可処分所得の中央値の半分の額に満たない世帯員の割合、子どもは17歳以下の者

空き家数と空き家率
 (百万戸) ~2013年の空き家は820万戸~ (%)



インターネットの人口普及率

